

## 2019年度 第 3 回 理 事 会 議 事 録

一般社団法人日本社会人バスケットボール連盟

2019年11月9日13時00分から、当法人の主たる事務所において、理事会を開催した。

議決権のある理事総数	16名
総理事の議決権の数	16個
出席理事数	11名
この議決権の総数	14個

出席理事 逢沢一郎、田中博行、佐藤昭、門川浩人、山花英司、川武修、野口加代、杉浦八重子、  
橋本雅子、野田明宏、小西道雄(記)  
オブザーバー参加 宇田津浩史、(敬称略)

## 〈開会のあいさつ〉

会議冒頭に逢沢会長より開会のあいさつをいただいた。  
また、事務局より今回の理事会開催は、当初開催予定の理事会が台風により開催間際でのスケジュール変更をしていただき理事皆様のご協力に謝意があった。

## 〈開会の確認〉

定款第36条に則り過半数の出席を有しており理事会が成立していることを報告。

議長は、本理事会は適法に成立し、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

## 《 審 議 ・ 報 告 事 項 》

## (1) 2019年度上半期報告(事業・予算進捗)について

- \* 門川専務理事より資料(2019年度事業報告・2019年競技開催日程表)に基づき報告を行った。
- \* 小西事務局長・財務担当より資料(収支進捗状況説明資料)に基づき報告を行った。

議長より各々の項目について出席理事に意見を求めた⇒特に質問等はなく承認された。

【資料の提示】No.1:2019年度事業報告:2019年競技開催日程表(進捗状況)

No.2:2019年4月1日～9月30日(一部11月報告時まで)収支進捗状況

## (2) 2020年度大会計画について

\* 山花競技部長より、提示資料に基づき(2020年競技大会開催日程、2020年競技変更点)、説明・報告を行った。

- ①競技開催日程調整中の日時・開催場所等についてはブロック長会議で詰めていく。
- ②競技変更点の大きなところは、“競技スポーツとしての環境づくり”“生涯スポーツを楽しむ環境づくり”
- ③OAカテゴリーの登録年齢制限の廃止・・大会に参加時は制限を行う(競技要項等で参加者が公平に参加できる配慮が必要になる。)
- ④OA-60の交流戦を広島大会でプレ大会として実施したい。

議長より出席理事に意見を求めた⇒

- ①年齢制限やカテゴリーの年齢の区切り等については男女の体力差もあり課題が大きい。
- ②OA-60の大会の実施方法？

出席者より意見が出た・詳細については今後競技会委員会にて検討を重ねていく。  
今後の検討内容を継続的に報告してもらうことで承認された。

【資料の提示】No.3:2020年度大会計画(スケジュール)  
No.4:2020年競技変更点

### (3) 2020年度地域リーグへの加盟承認について

\*川武地域リーグWG長より資料(2020年地域リーグ参加チーム予想一覧表、小豆島ストーンズのヒヤリング議事録)を提示し説明・報告を行った。

議長より出席理事に意見を求めた⇒

議論の中では下記意見や説明を行った。

- ①自動昇格の基準について・・・単独ブロックは8チームが基本になっているのでそれに満たないところは自動昇格を適応する。
- ②ブロックのチーム数の基準について・・・8チームを原則としているが、複数ブロックではブロック数までチーム数を増やすことができる(但し、ブロック内での取り決めで8チームでも良い)。

男子について

- ③東北ブロック・・・自動昇格(FLASH:青森)・・・これで8チーム  
東海・北信越ブロック・・・活動の中心は東海ブロックのため運営しやすい8チームとしているので新規チームは入れ替え戦(入れ替え戦実施基準により実施の可否を決める)  
中国・四国・九州ブロック・・・三地区からのチームの集合体のブロックになっているので10チームまでは自動昇格(山口教員団:山口、トライフープ岡山サテライト:岡山)
- ④中国・四国・九州ブロック・・・香川県より推薦された小豆島ストーンズは、大会実績はないが本部役員とのヒヤリングを行い昇格とした。
- ⑤関東、東海・北信越、近畿ブロックは、入れ替え戦基準に該当しているチームであれば入れ替え戦を実施する。

女子についてはブロック数が少ないが、8チームの原則を守ることにしている

- ①関東は、東北ブロックと合同の活動で東日本A/Bとしたので東京推薦の東京シルキーエアーズを承認するが最終の確認は東京都協会の推薦とする。
- ②西日本は当初予定とおりの入替戦を実施する。

質問・意見等はでたが、項目ごとに確認し理事会承認を受けた。

【資料の提示】①2020年度地域リーグ参加チーム予想一覧表  
②地域リーグ新規参入希望チーム(小豆島ストーンズ)ヒヤリング議事録

### (4) JBA功労者表彰について

\*小西事務局長より、本年度のJBA功労者表彰に対するJSBよりの推薦者について説明があり資料に基づき提案があった(JBAの提出期限があり前回の理事会で審議する予定であったが

台風の影響で理事会が今回に変更になったので理事の皆様には事前に電子承認をいただいている。

議長より出席理事に意見を求めた⇒特に異議もなく了承された。

【資料の提示】No.6 JBA功労者表彰推薦書

(5) 未来構想委員会（特別委員会）

\*門川専務理事より、JBA将来構想委員会の方針等について提示資料に基づき説明報告があった。

\*山花競技委員長より、JSB未来構想委員会（特別委員会）での検討事項について資料に基づき説明報告があった。

前回の理事会でも一部報告している内容であり、特別委員会として検討している項目になる。  
大きな変更項目は

①JSBの一番を決める大会を設置したい。

チャンピオンシップ⇒総合選手権とする。開催時期も現行の2月より年度末の3月開催へ

②上記変更に伴いオープン選手権の開催時期を3月より2月開催へ（いずれは12月開催）  
オープン選手権の上位チームを総合選手権へ推薦する。

③競技スポーツと生涯スポーツの棲み分けをはっきりさせOAカテゴリの大会を活性化させる。  
レディース交流大会との統合。

「競技スポーツ」：0-40/0-50・・・男子、0-40・・・女子

「生涯スポーツ」（フレンドリーマッチ）：0-50/0-60・・・男子、0-40/0-50/0-60・・・女子

・・・競技要項等については今後競技会委員会にて詰めていく。

【資料の提示】NO.5 未来構想委員会資料

《 報 告 事 項 》

(1) 競技会委員会報告

①競技ガイドラインを作成しているので中身をよく理解して進めてほしい。

②WJBLよりのオータムカップへの参加要請  
チャンピオンシップの要項に記載していく

(2) 事務局より報告

①会議スケジュールの提示し今後の予定を確認した。

議長は、報告事項を含めて本日の審議が終了した旨を述べ、15時00分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し議長及び監事がこれに記名し押印する。

議 長 田 中 博 行

監 事 橋 本 弘 昭

監 事 羽 角 国 広

以上